

東電管内 停電の恐れ

きょう夕刻にも 発電所停止で

東京電力は、東日本大震災で発電所の停止が相次いでいるため、12日夕刻に、電力供給が需要に追いつかなくなる、との見通しを発表した。節電を呼びかけるなどの対策をとるが、東電管内の一部地域が停電になる可能性がある。

東電管内の12日の、電灯・暖房需要が増える午後6時から午後7時の予想需要は3800万キロワット。これに対し、同時刻に供給できる電力は3500万キロワットで、300万キロワット足りなくなるという。

電力会社は、供給力が足りなくなると、ほかの電力会社から電力を買ってきて、賄う。

しかし、東電が供給する周波数50ヘルツの電力を発電しているのは、東電からみて地震災害地方面の北海道電力と東北電力だけなので、融通は期待できない。

今回、東京電力は周波数60ヘルツの中部電力から計100万キロワットを融通してもらおう。ただ、静岡県などにある周波数変換施設で60ヘルツから50ヘルツに変換しなければならない。同施設の変換能力の小ささから、融通量は限られる。